

あいの風とやま鉄道利用促進アンケート調査結果の概要

1. 調査概要

(1) 目的

開業 10 周年を機に、更なる利便性向上、マイレール意識の醸成につながる取組みを進めるため、当社線の利用の有無にかかわらず、運行に期待することやパターンダイヤの評価、JR 城端線・氷見線の経営移管等について、幅広くご意見を伺った。

(2) 調査方法

2025 年 12 月 10 日 ~ 2026 年 2 月 10 日までの 2 か月間、当社施設（駅、車両）や当社公式 SNS、ファンクラブ通信、行政機関（県、市町村）におけるポスター掲出等でアンケートを周知。全てインターネットを通じて回答をいただいた。

(3) 回答件数

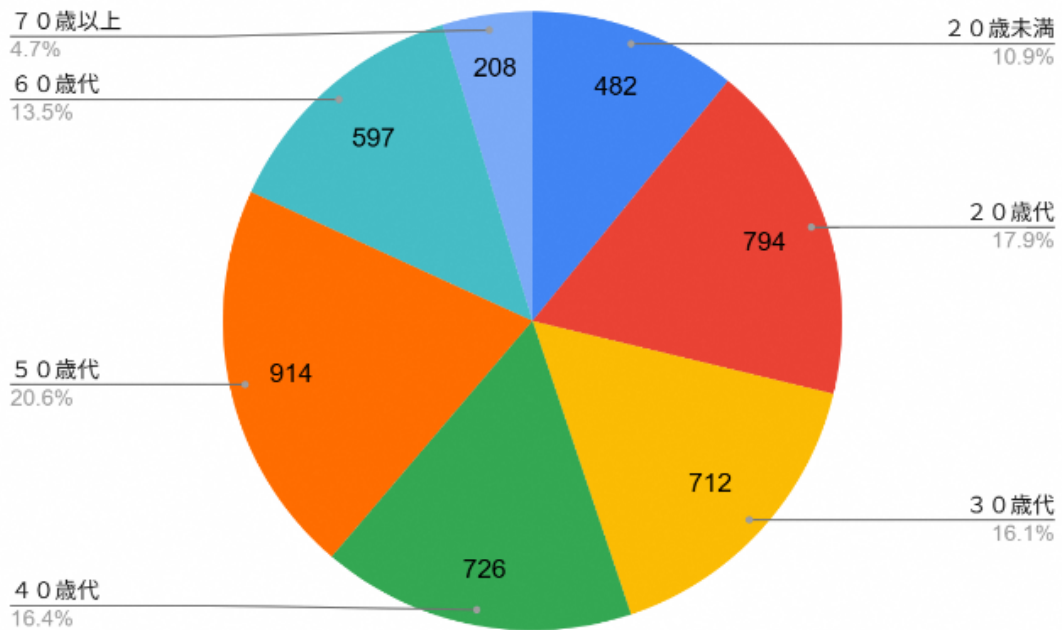
4, 433 件

2. 調査結果

(1) 属性（n=4,433）

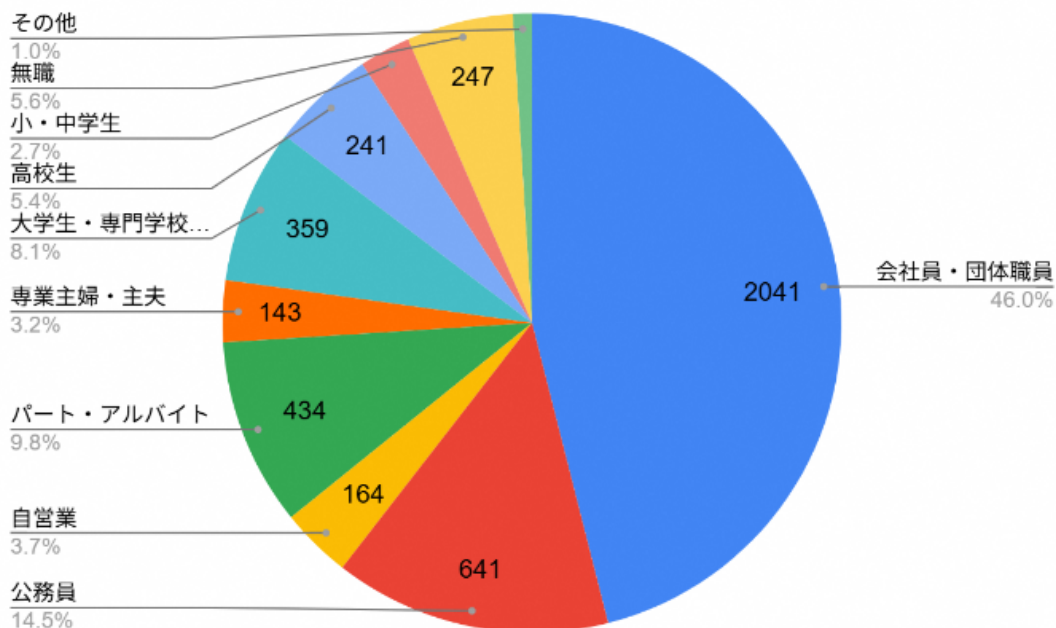
- ・年齢層は、「50 歳代」（20.6%）が最も多いが、全年代からバランスよく回答を得た。

●年齢層



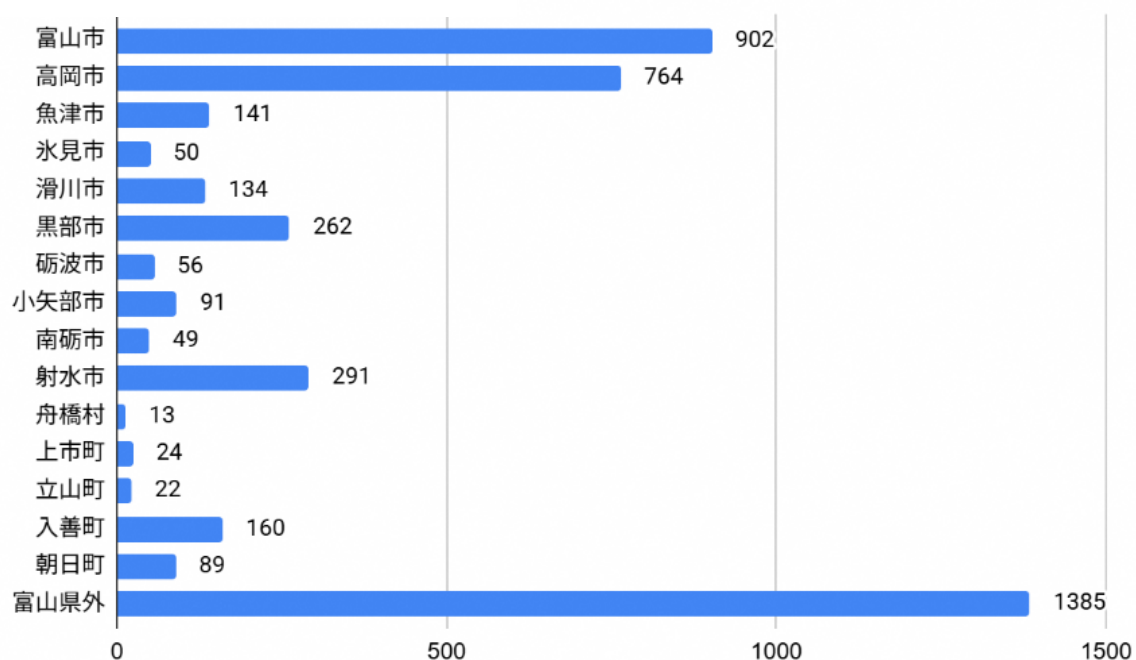
・職業は、「会社員・団体職員」(46.0%)、「公務員」(14.5%)の順に多く、小学生～大学生は(計16.2%)。

●職業



・住まいは、富山県内では「富山市」(20.3%)、「高岡市」(17.2%)の順に多く、「富山県外」(31.2%)。

●お住いの地域



(2) 直近1年以内の当社線利用の有無 (n=4,433)

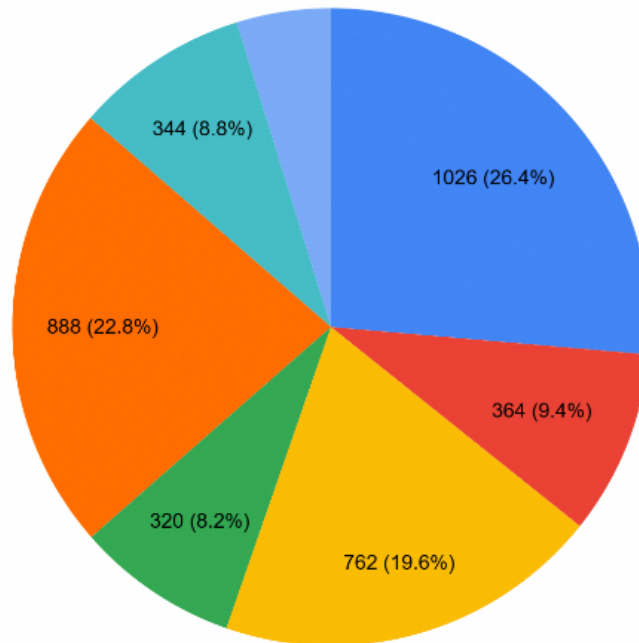
・「利用したことがある」(87.8%)、「利用したことがない」(12.2%)。

(3) 当社線の利用時間帯 (n=3,890)

・「朝夕の通勤・通学時間帯 (~9時台、15時~19時台)」(44.6%)、「昼間時間帯 (10時~14時台)」(46.2%)、「夜間時間帯 (20時~)」(9.2%)。

(4) 運行について期待すること (n=3,890)

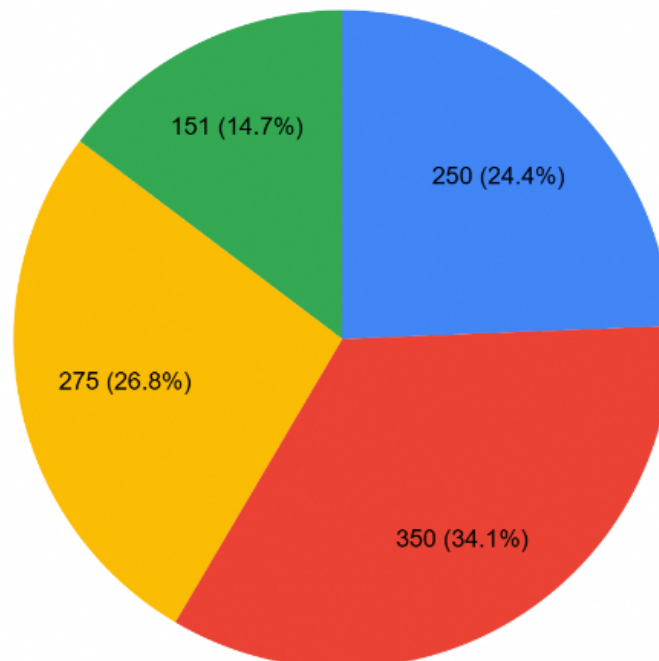
- ・「普通列車の運行本数の増」(26.4%)、「車両数増による混雑緩和」(22.8%)、「他の交通機関(新幹線、他鉄道、バス等)との乗継利便性の向上」(19.6%)と続く。



● 普通列車の運行本数の増 ● あいの風ライナーの運行本数の増 ● 他の交通機関(新幹線、他鉄道、バス等)との乗継利便性の向上
● 一定間隔で周期的に運行されるダイヤ(パターンダイヤ)の設定、拡充 ● 車両数増による混雑緩和 ● 特になし ● その他

(5) 普通列車の運行本数の増を望む時間帯 (n=1,026)

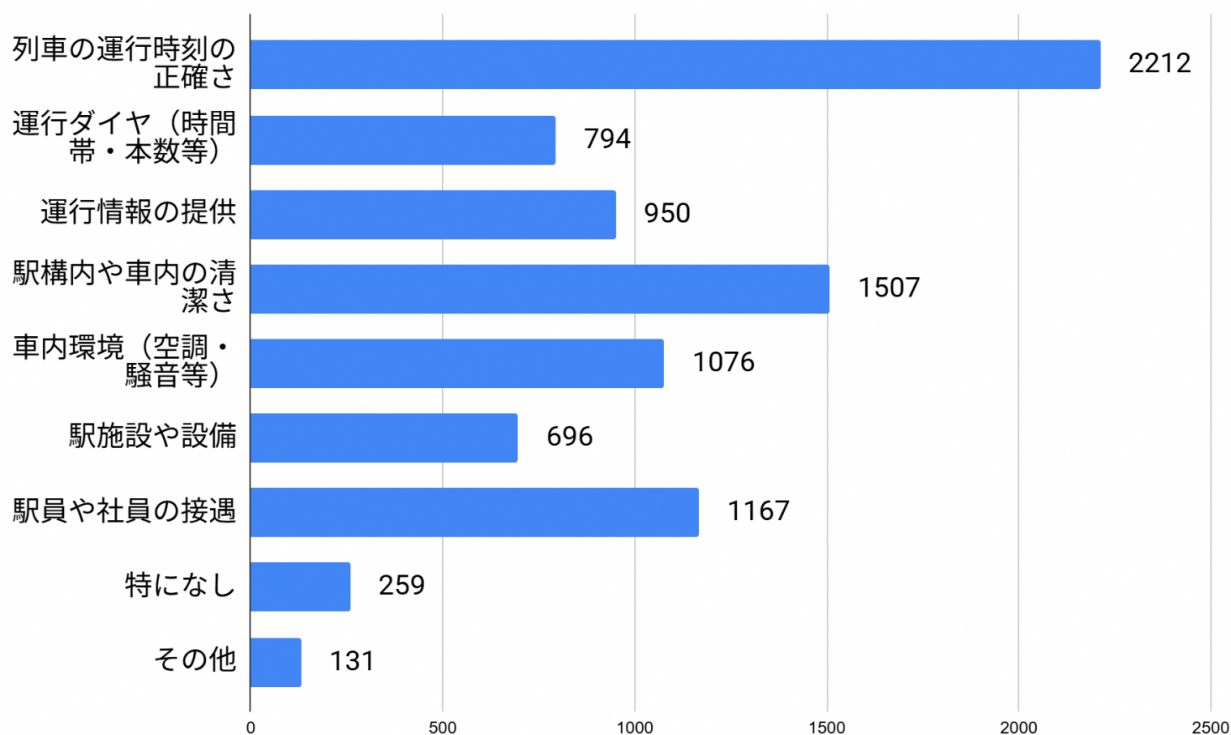
- ・「～9時台」(24.4%)、「10時～14時台」(34.1%)、「15時～19時台」(26.8%)、「20時～」(14.7%)。



● ～9時台 ● 10時～14時台 ● 15時～19時台 ● 20時～

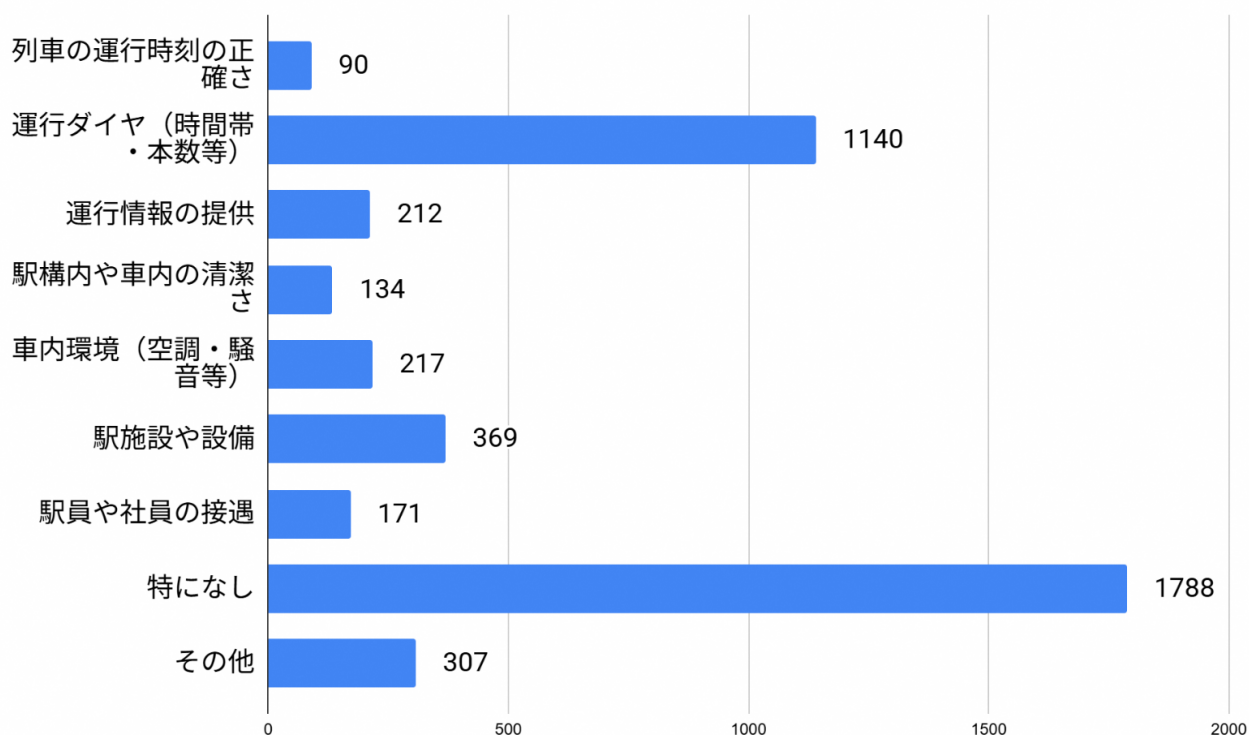
(6) 当社線をご利用の際、「良い」と感じた点 (n=3,890、複数回答)

- ・「列車の運行時刻の正確さ」(2,212件)、「駅構内や車内の清潔さ」(1,507件)と続く。



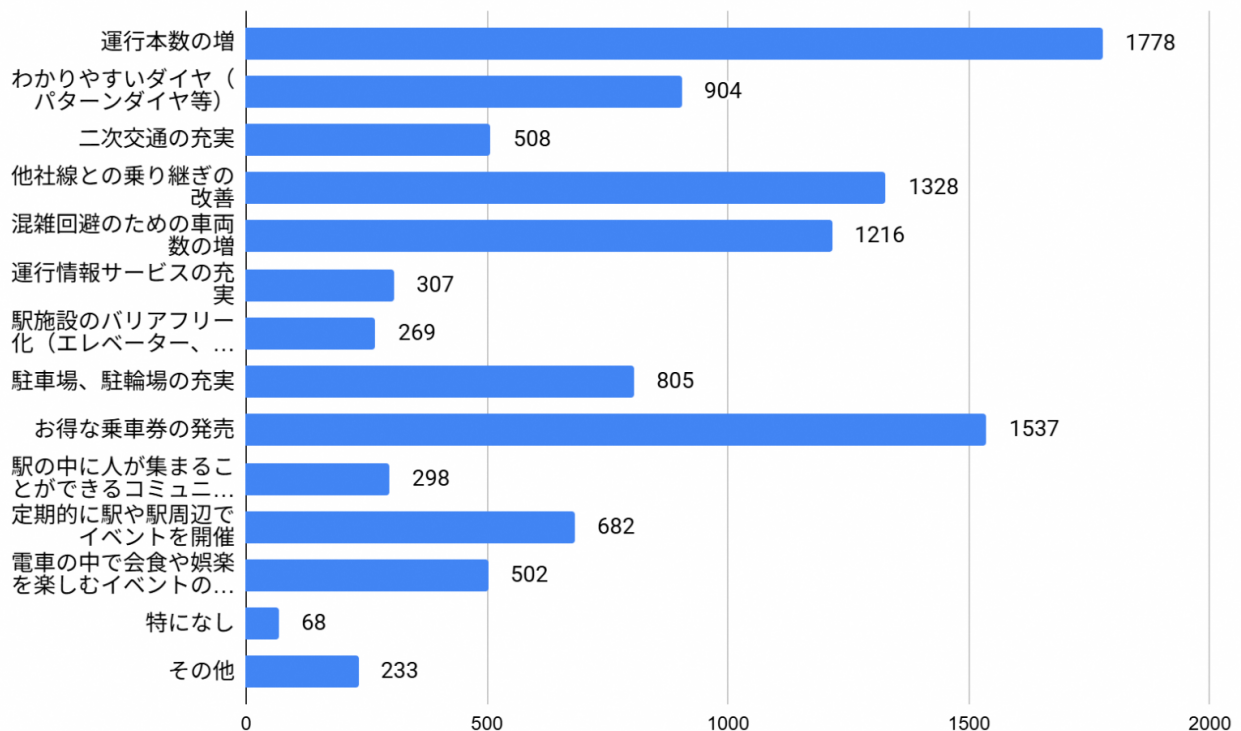
(7) 当社線をご利用の際、「良くない」と感じた点 (n=3,890、複数回答)

- ・「特になし」(1,788件)、「運行ダイヤ (時間帯・本数等)」(1,140件)と続く。



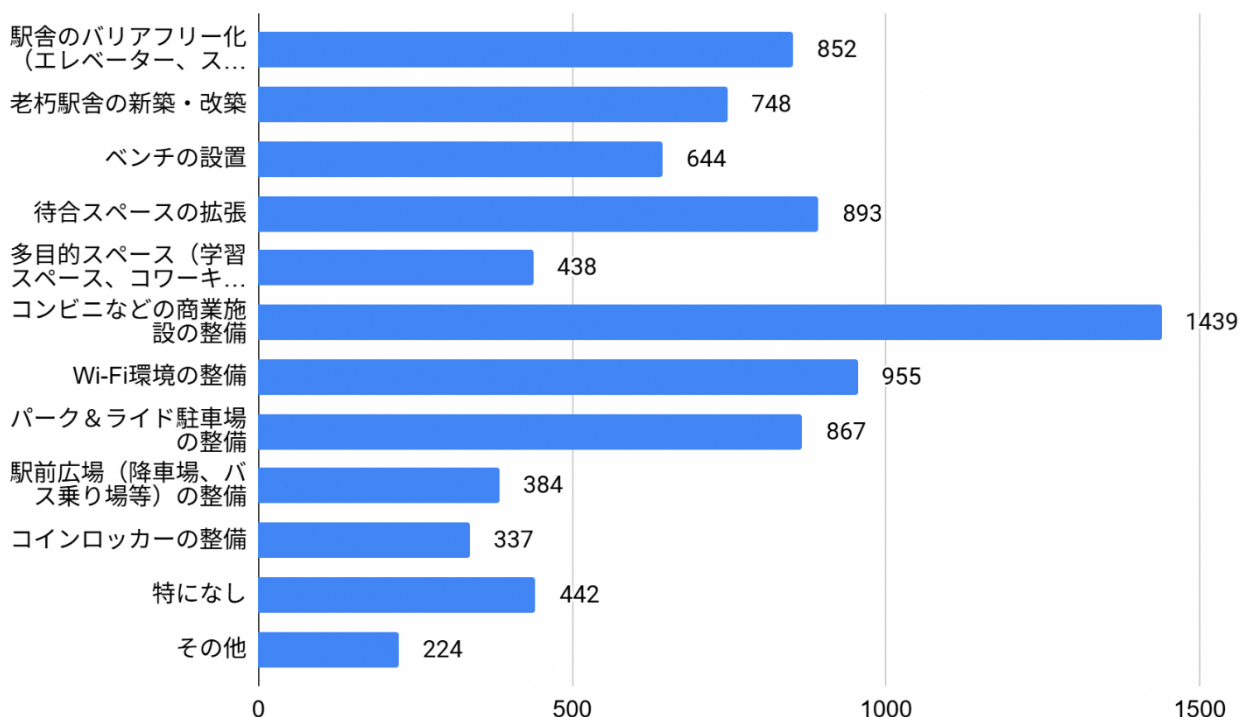
(8) どういった取組みがあれば、もっとあいの風とやま鉄道を利用するか (n=3,890、複数回答)

- ・「運行本数の増」(1,778件)、「お得な乗車券の発売」(1,537件)、「他社線との乗り継ぎの改善」(1,328件)、「混雑回避のための車両数の増」(1,216件)と続く。



(9) 主な利用駅の駅舎設備について期待すること (n=3,890、複数回答)

- ・「コンビニなどの商業施設の整備」(1,439件)、「Wi-Fi環境の整備」(955件)、「待合スペースの拡張」(893件)と続く。

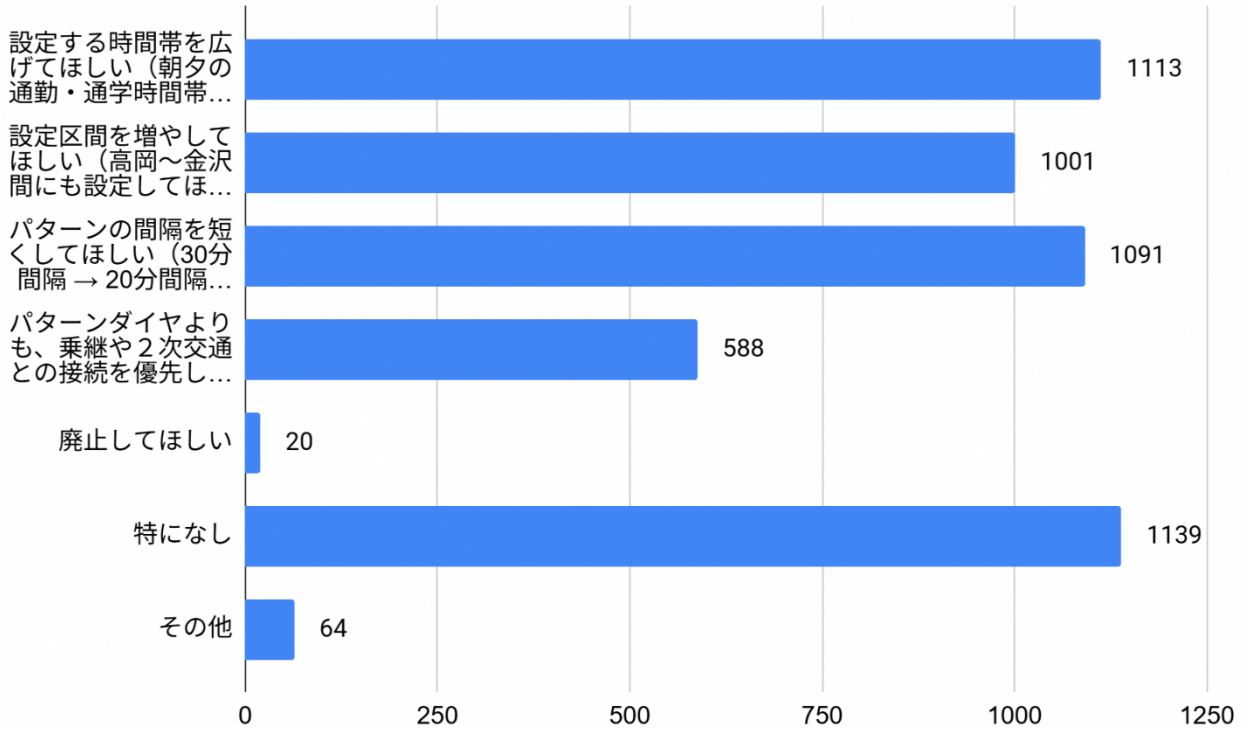


(10) パターンダイヤについての評価 (n=1,270)

- ・「良い」(62.3%)、「どちらかといえばよい」(31.0%) で、肯定的な評価が 93.3%を占めた。

(11) パターンダイヤについての意見・要望等 (n=3,890、複数回答)

- ・「特になし」(1,139 件) が最も多いが、「設定する時間帯を広げてほしい」(1,113 件)、「パターンの間隔を短くしてほしい」(1,091 件)、「設定区間を増やしてほしい」(1,001 件) で、要望も多かった。



(12) 運行情報提供サービス「あいトレ」についての評価 (n=2,307)

- ・「良い」(58.65%)、「どちらかといえばよい」(34.55%) で、肯定的な評価が 93.2%を占めた。

(13) JR 城端線・氷見線のあいの風とやま鉄道への経営移管についての意見・要望等 (自由記述)

- ・2,506 件のご意見をいただき、「乗り換え・接続の改善」(423 件)、「直通運転の拡充」(384 件)、「応援・期待・肯定的な意見・お願い」(297 件) の順で多く、高岡駅でのあいの風本線との接続や、富山駅・金沢駅までの直通便を求める意見があった。

カテゴリ	件数
乗り換え・接続の改善(高岡駅・新高岡駅等)	423
直通運転の拡充(富山方面・城端氷見間など)	384
応援・期待・肯定的な意見・お願い	297
ダイヤ改善・運行本数の増加	216
新車両の導入・車両デザイン・設備・国鉄型車両の活用	215
特になし・分からない	211
観光列車(べるもんだ等)・イベントの継続	173
運賃の維持・値下げ・お得な切符の拡充	108
駅設備・窓口・システムの近代化・ICカード導入	80
車両の増結・混雑緩和	11
移管に対する懸念・不安・反対意見	5
その他	383

(14) より多くの方に利用いただくためにはどのような取り組みが重要か（自由記述）

- ・2,562 件のご意見をいただき、「ダイヤ改善・本数増加・利便性向上」（786 件）が最も多く、「イベント・観光列車・コラボ企画の実施」（510 件）、「運賃値下げ・お得なきっぷ・割引の充実」（334 件）であった。

カテゴリ	件数
ダイヤ改善・本数増加・利便性向上	786
イベント・観光列車・コラボ企画の実施	510
運賃値下げ・お得な切符・割引の充実	334
駅設備・周辺環境の充実（売店・新駅・バリアフリー等）	212
PR・情報発信・SNSの活用	153
地域・企業・自治体との連携・沿線活性化	72
バス等二次交通・他機関との連携・アクセス改善	67
車両の増結・混雑緩和	47
特になし・現状維持・満足	45
車両の快適性向上・デザイン・車内設備の工夫	40
接客・サービス向上・高齢者や子供への配慮・マナー	34
駐車場・駐輪場・パークアンドライドの整備	26
ICカード・キャッシュレス決済の導入・統一	7
その他	229

(15) その他意見・要望等（自由記述）

- ・1,480 件のご意見をいただき、「応援・感謝・期待・肯定的な意見」（535 件）が最も多く、「運行・ダイヤ・混雑緩和」（240 件）、「車両・駅設備・環境改善」（149 件）であった。

3. アンケート結果を踏まえた施策の方向性

アンケート結果において要望が多かった項目について、新年度から新たに取り組む施策と、今後さらに検討を進めていく取組みについては以下のとおりです。

（○：新たに取り組む施策、●：今後、さらに検討を進める取組み）

①増便・増車関係

- 2026年3月のダイヤ改正により、下り列車1便（高岡駅発（14:45）富山駅着（15:03））を増便します。
- 混雑が見込まれる多客期に加え、土曜日・休日の混雑緩和を図るため、富山駅～金沢駅間の1往復で車両を2両編成から3両編成に増車する日数を拡大します。（全ての土日祝日を加えて年間120日程度）
- 2027年3月のダイヤ改正において、中間車両2両を投入し、一部列車において、2両編成から3両編成に増車し、混雑緩和を図ります。また、車両運用の弾力化により、多くのご利用をいただいている昼間や夕方の時間帯における増便について検討を進めてまいります。

②運行ダイヤ関係

- お客様にわかりやすく利便性の高い運行ダイヤとするため、富山駅～高岡駅間において「14 時台～15 時台」までの間、列車間隔の平準化と、準パターンダイヤ化を実施します。
- 評価が高いパターンダイヤについては、より利便性の高いものとなるよう、パターンダイヤの拡充を検討します。
- 広域間の直通運転を行います。(富山駅～福井駅間、上下線 1 本/日)

③乗継利便性の向上・二次交通関係

- 「駅を拠点としたモビリティサービスの充実に向けた連携協力に関する協定」を締結しているトヨタモビリティ富山株式会社様との連携により、カーシェア車の設置を拡充してまいります。
- バス等の二次交通との接続など、居住地や目的地と駅とのアクセスを改善することは、地域公共交通の維持に重要であることから、沿線市町や他の交通事業者との連携、MaaS ※を推進することにより、駅を拠点としたモビリティ・ハブ機能の構築を目指します。

※Mobility as a Service

ICT を活用して交通をクラウド化し、公共交通か否か、またその運営主体にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ（移動）を1つのサービスとしてとらえ、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念

④駅施設の整備（バリアフリー化等）関係

- 越中大門駅においてエレベーターを整備します。(2026 年度末供用開始予定)
- 泊駅におけるエレベーターの整備に向けて、実施設計に着手します。
- クレジットカード決済対応型自動券売機を順次導入します。

⑤企画きっぷの拡充関係

- 若年層の利用促進、子育て支援の観点から、お得で利用しやすい「中学生往復半額きっぷ」について通年販売します。
- 多くのお客様にご好評をいただいている「北陸3県2dayパス」の利用日を拡大し、新たに金曜日も利用可能とします。

⑥自治体等との連携関係

- イベントタイアップのご要望があった沿線市町と協力し企画きっぷの造成等の拡充を実施します。(タイアップ件数 2025 年度：18 件 → 2026 年度：22 件)

⑦公式 SNS による情報発信関係

- フォロワー数 1 万人を達成した公式 X に加え、公式 LINE を開設し、情報発信を強化してまいります。

⑧マイレール意識の醸成関係

- ファンクラブ見学会の定員を増やすなど、ファンクラブ活動の充実を図ります。
- 公式マスコットキャラクター「あいの助」の新たなグッズを開発します。
- グッズ購入時のキャッシュレス決済を導入します(ブース出展時のみ)。

⑨ J R 城端線・氷見線の弊社への経営移管関係

- 概ね 3 年後に予定されている経営移管を見据え、J R 城端線沿線の魅力 P R 及び当社線の利用促進につなげるため、沿線企業とタイアップした IC カード導入に伴うキャンペーンを実施します。

- 経営移管後の利便性の高いダイヤ編成に向けて、本線と城端線・氷見線のパターンダイヤを組み合わせた「タクトダイヤ」を検討するなど、本線との良好な接続に向けた検討を行ってまいります。